

第4学年2組 国語科学習指導案

1 単元名・教科名 「動いて、考えて、また動く」

2 児童の実態と本単元の意図

本学級ではこれまで、「大きな力を出す」と「動いて、考えて、また動く」の単元で説明文の学習を進めている。これらの学習を通して、説明文の文章の特徴として、はじめ・なか・おわりの構成があることを学び、それぞれの段落の中心となる文章に注目して読むということを行ってきた。一方で、その段落ごとに中心となる文章を見つけるという活動を苦手としている児童も多い。

本教材は、筆者の学生時代の走るという経験を通して、まず自分で動き、そこからまた考え実践していくということが大切であるということが主題の文章である。

本単元を指導するに当たって、小学校学習指導要領の第3学年及び第4学年の「C 読むこと」の指導事項「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を中心に指導を行っていく。そのために、単元を通してはじめ・なか・おわりの文章の特徴をとらえたうえで、各段落のトピックセンテンスを見つけ、要約をしていくという活動を設定する。その活動を遂行するために、各段落の文章一文ずつを読み取っていきその文章の中から一番重要な文はどこかということを考えられるように指導していく。また、単元の終わりでは、文章の要点をまとめたうえで、自身の生活と結びつけ意見文を考える活動を行う。筆者の意見から自身の意見を考えることで文章の意見についてもまとめられるように指導していく。

本時では、各段落のトピックセンテンスを見つけるという活動の一環として、第6段落、第7段落のトピックセンテンスを見つけ、要約するという活動をしていく。各段落において、なかの部分のまとめに当たる部分であるので、「このように」などのまとめの表現に注意するように指導したい。

本教材の指導を通して、説明文の重要な部分を見つけ理解し、文章全体の筆者の意見を理解することができるのではないかと考えている。

3 単元の目標

- (1) 説明文の文章を、自分の経験や知識などから考え、興味を持った箇所を見つけ、読もうとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 文章を細かい点に注意して読み、必要に応じて引用、要約することができる。(読むこと)
- (3) 筆者の意見と事実の関係を捉え、段落の関係について理解することができる。(読むこと)

- (4) 自分の意見を表現したり、まとめたりするために必要な語句を増やしている。
(伝統的な言語文化と国語に特質に関する事項)

4 単元の評価基準と学習活動に即した評価基準

	ア 国語への 関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 伝統的な言語文化と 国語に特質に関する事項
単 元 の 評 価 基 準	・説明文の文章を、自分の経験や知識などから考え、興味を持った箇所を見つけ、読もうとしている。	・文章を細かい点に注意して読み、必要に応じて引用、要約することができる。 ・筆者の意見と事実の関係を捉え、段落の関係について理解することができる。	・自分の意見を表現したり、まとめたりするために必要な語句を増やしている。
学 習 活 動 に 即 し た 評 価 基 準	①段落ごとに重要だと感じる部分を見つけようとしている。 ②筆者の意見から自身の意見をまとめようとしている。 ③自身の意見を他者に発表しようとしている。	①段落ごとに筆者の意見を捉えることができる。 ②段落間の関係を捉えることができる。 ③自分の意見を考えるうえで、筆者の意見をまとめることができる。 ④文章全体を注意して読み、全体的话题を捉えることができる。	①自身や他者の発表などから適切な語彙を習得している。

5 指導と評価の計画 (全6時間扱い) 本時4/6時

時	学習活動	学習内容	評価基準・評価方法
1	○文章全体を読み、文章の話題を理解し、段落をまとまりで考える。	○学習内容の理解 ○段落関係の理解 ○学習の見通し	エの②、エの④、オの① ・ワークシートによる考察 ・机間指導による考察
2	○文章全体を読み、第1、第2段落について要点をまと	○段落内の要点の整理 ○要約文のまとめ方	アの①、エの① ・授業内の発表への参加 ・机間指導による考察

	める。		・ワークシートによる考察
3	○第3、第4、第5段落について要点をまとめる。	○段落内の要点の整理	アの①、エの① ・授業内の発表への参加 ・机間指導による考察 ・ワークシートによる考察
4	○第6、第7段落について要点をまとめる。	○段落内の要点の整理	アの①、エの① ・授業内の発表への参加 ・机間指導による考察 ・ワークシートによる考察
5	○第8段落について要点をまとめる。 ○全体の要旨の確認を行う。	○段落内の要点の整理 ○文章全体の流れと筆者の意見の確認	アの①、エの①、エの② ・授業内の発表への参加 ・机間指導による考察 ・ワークシートによる考察
6	○文章全体の要旨を確認したうえで、筆者の意見に対する自身の意見文を考える。	○筆者の意見に対して自身の意見をまとめる	アの②、アの③、エの③ ・授業内の発表への参加 ・机間指導による考察 ・ワークシートによる考察

6 本時の学習計画（本時4/6時）

（1）目 標

○段落ごとの中心となる文章を見つけ、要点としてまとめることができる。

（2）評価基準

ア 国語への 関心・意欲・態度	エ 読む能力
①段落ごとに重要だと感じる部分を見つけようとしている。	①段落ごとに筆者の意見を捉えることができる。

（3）展 開（●は指導上の留意点、○は評価 を表す）

前時の学習内容	○段落内の要点の整理	○要約文のまとめ方
---------	------------	-----------

学 習 活 動	学 習 内 容	指 導 と 評 価 の 創 意 工 夫	時 間
---------	---------	---------------------	-----

1 本時の学習課題の確認	・本時の学習課題	●前時の活動を振り返り、本時も同様に段落の中心となる文章を考えていくことができるようにする。	5'
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて 段落ごとの筆者の意見をまとめよう。</p> </div>			
2 第5段落の読み取りを行う	・段落の読み取り	<ul style="list-style-type: none"> ●まず、一度段落の音読を行った後、一文ずつ内容を確認していく。 ●文によって重要なキーワードが含まれている場合にその部分に注目するようにする。 ○段落ごとに重要だと感じる部分を見つけようとしている。(関心・意欲・態度) 	7'
3 第5段落の中心となる一文に線を引き、その文を中心に段落の要点を作る。	・要点のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●中心となる一文を見つけることに加え、そこから要点の形にまとめるためにほかの文章からキーワードを抜き出すという工夫も加えていく。 ○段落ごとに筆者の意見を捉えることができる。(読む能力) 	10'
4 第6段落の読み取りを行う	・段落の読み取り	<ul style="list-style-type: none"> ●段落の音読を行う。 ●第5段落と同様であるが、「手ではなくあしについて」話題にしている文章であることをおさえる。 ●例えの表現に注目して、その部分は重要な部分を言い換えていることを理解できるようにする。 	10'
5 第6段落の中心となる	・要点のまとめ	●なかの部分のまとめにあた	10'

<p>る一文に線を引き、その文を中心に段落の要点を作る。</p> <p>6 まとめ</p>		<p>る段落か、終わりの部分のま とめにあたるのか、を確認で きるようにする。</p> <p>●本時の学習のまとめを行い、 次回の学習の確認を行う。</p>	<p>3'</p>
---	--	--	-----------

7 備考

在籍児童数 35名

8 板書計画

動いて、考えて、また動く	めあて 段落ごとの筆者の意見をまとめよう。	各段落の 文章をコピーしたものを 貼る	まとめ	第5段落	要点 ~~~~~	第6段落	要点 ~~~~~
--------------	--------------------------	---------------------------	-----	------	-------------	------	-------------